

ピンクリボン運動とは？

ピンクリボン運動は 1980 年代にアメリカで始まりました。乳がんで娘を亡くした女性が「このような悲しい出来事が繰り返されないように」と願いを込めて作ったリボンが、ピンクリボンのはじまりです。ピンクリボンとは、乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診やセルフチェックなど、乳がんの早期発見・早期治療の大切さを伝えることなどを目的として行われる世界規模の活動です。定期的な乳がん検診と、定期的なセルフチェックを行い、普段から自分の乳房を知り、小さな変化に気づきやすくなる習慣を身につけましょう。

当院は社会貢献の一環として、当初より J.M.S プログラム (ジャパン・マンモグラフィ・センター) に参加しています。J.M.S は日ごろ子育て・介護・仕事・家事などで忙しく、平日に検診を受けに行きにくい女性の皆さんが、**休日の日曜日に「乳がん検診」を受けられる**よう、全国の医療機関と認定 NPO 法人 J.POSH (ジャパン ピンクリボン オフ スマイル アンド ハピネス) が協力して**毎年 10 月第 3 日曜日**に乳がん検診マンモグラフィ検査を受診できる環境づくりへの取り組みです。

※JMS についての詳細は 宮田病院 健診部 (0949-32-3006) までお問い合わせください。

※セルフチェックの仕方 (<https://www.j-posh.com/cancer/mammacheck/>)

